

令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名 淀川区

学校名 大阪市立新高小学校

学校長名 柴原 信彦

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立新高小学校では、第6学年 124名

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科は全国の平均正答率と比べて1.6ポイント下回り、大阪市の平均正答率と同ポイントとなる結果で昨年度より改善されている。学習指導要領の内容のうち、「A話すこと・聞くこと」において、全国の平均正答率を1.3ポイント上回り「C読むこと」においても、全国の平均正答率を0.1ポイント上回る成果が見られる。算数科は全国の平均正答率と比べて2.7ポイント上回る結果となった。学習指導要領の領域である「A数と計算」「B図形」「C測定」「Dデータの活用」において、全国の平均正答率を上回っている。理科は全国の平均正答率と比べて0.3ポイント下回り、大阪市の平均正答率より3ポイントと上回る結果となった。学習指導要領の区分・領域である「A区分・粒子を柱とする領域」において、全国の平均正答率を2.3ポイント上回る成果が見られる。

平均無答率は、国語科で全国の平均正答率を0.1ポイント、理科で全国の平均正答率を0.3ポイント下回っているが、算数科では全国の平均正答率を0.9ポイント上回る結果となった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】 学習指導要領の内容「思考力、判断力、表現力等」のうち、「A 話すこと・聞くこと」に関する本校の平均正答率は、全国の平均正答率と比べて1.3ポイント上回り、「C 読むこと」に関する本校の平均正答率も、全国の平均正答率と比べて0.1ポイント上回っており成果が見られる。本校では、様々な教科において、ペアやグループでの話し合い活動を授業に取り入れているため、そのことが成果につながっていると言える。また、児童質問紙「読書は好きですか」の項目において「当てはまる」と回答した児童の割合が全国と比べ、5.2ポイント上回っており、読書に親しむ態度が成果につながっていると言える。これは、読書環境の整備、図書室開放の時間拡大、図書ボランティアによる読み語りの取り組みによるものである。

表現力等】

【算数】 学習指導要領の4領域のうち「A 数と計算」「B 図形」「D データの活用」に関する問題において、全国の平均正答率を上回った。また、評価の観点「知識・技能」「思考・判断・表現」に関する問題は、ともに全国の平均正答率を上回った。本校では校内の研究教科を算数科として、3年間取り組んでいる。基礎基本の定着、「わかる」「できる」喜びの体感を目指し、児童の主体的な学習過程の工夫、板書やノートの工夫、自分の考えを伝え合う活動の充実に取り組んでいる。授業研究会の実施や大阪市教育委員会「学力向上支援チーム事業」による講師先生の研修や指導助言によって、授業の質の向上に取り組んでいることが成果につながっている。

【理科】 全国の平均正答率と比べて0.3ポイントにせまり、大阪府の平均正答率を3ポイント上回る結果となった。評価の観点「知識・技能」に関する問題は、全国の平均正答率を0.5ポイント上回った。実験・観察の直接体験を重視した児童が主体となる問題解決の授業展開を行っている成果である。しかし、学習指導要領の領域「地球」に関する問題は、全国の平均正答率を4.4ポイント下回る結果となった。本領域の学習内容は「時間的・空間的」な視点で、自然の事物現象をとらえなければならないが、直接体験による理解が難しい。そのため、モデル模型や動画コンテンツ、ICT機器をこれまで以上に工夫して活用していく。

質問紙調査より

「将来の夢や目標をもっていますか」について、肯定的な回答をした児童の割合は、全国・大阪市の平均を上回っている。さらに関連する「人の役に立つ人になりたいと思いますか」についても、肯定的な回答をした児童の割合が全国・大阪市の平均とほぼ同率である。今後も、将来就きたい仕事や夢について考えることができるキャリア教育の充実や教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に行っていく。「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」について、全国・大阪市の平均を上回っている。本校では、とくに授業中、ペアやグループによる話し合い活動を意図的に行い、児童が問題解決を図っている成果である。

「国語の授業の内容がよくわかりますか」「算数の授業の内容がよくわかりますか」について、肯定的な回答をした児童の割合は、全国平均を上回っている。今後も「「わかる・できる」を実感できることにより、学ぶことの楽しさにつなげられるよう、日々の授業や教材について、改善を進めていく。

今後の取組(アクションプラン)

校内の研究教科を「算数」とし、授業改善に向けて全教職員で研究に取り組み、その成果が表れている。引き続き、授業改善に努め、「全国学力・学習状況調査」結果の状況を分析し、課題を整理して校内研究の活性化を図っていきたい。学力面においては、基礎・基本の充実に向けた取り組みを、粘り強く今後も継続して行っていくことに加え、「主体的・対話的で深い学び」の推進に取り組んでいく。個別最適の学びを実現するために、大阪市内外の研究会での実践を取り入れたり、学力向上推進に関する大阪市の施策の活用したりして授業を改善していく。また、ICTやデジタルドリル、学習教材データ等をより一層活用していく。

さらに、「読書活動の充実」「言語についての知識・理解・技能の習得・活用」を目指して、朝時間の活用、習熟度別少人数授業の推進、区の放課後補習補習充実事業の充実に今後も計画的に取り組んでいく。また、家庭学習に対する子どもの主体的な取り組みを目指していくことや、指導力向上に向けての研修の充実、保護者・地域・異校種との連携を一層進めていく。

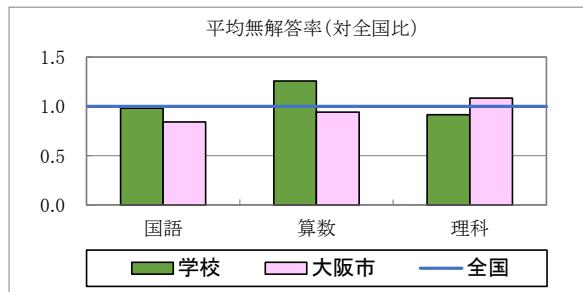
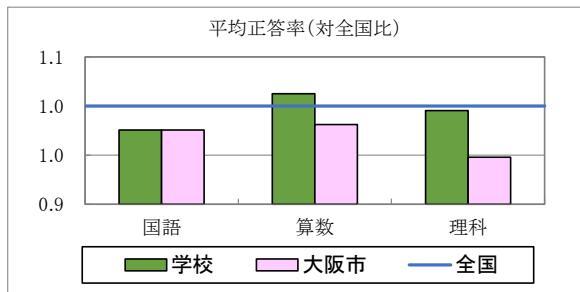
【 全体の概要 】

平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	64.0	64.0	63.0
大阪市	64.0	62.0	60.0
全国	65.6	63.2	63.3

平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	5.6	4.4	3.3
大阪市	4.8	3.3	3.9
全国	5.7	3.5	3.6



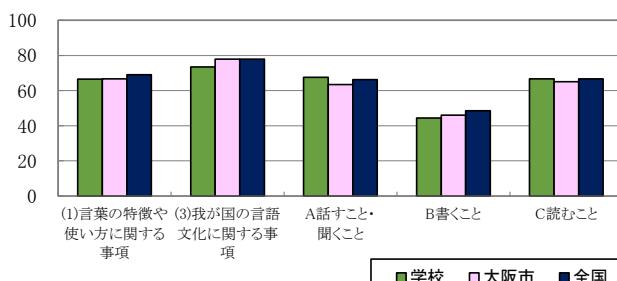
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	5	66.5	66.7	69.0
(2)情報の扱い方にに関する事項	0			
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	73.5	77.8	77.9
A 話すこと・聞くこと	2	67.5	63.4	66.2
B 書くこと	2	44.4	46.0	48.5
C 読むこと	4	66.7	65.0	66.6

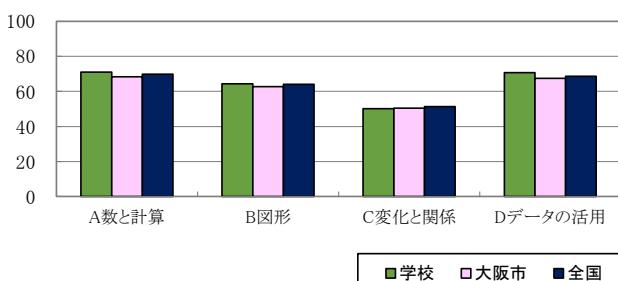
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	71.1	68.4	69.8
B 図形	4	64.3	62.8	64.0
C 測定	0			
C 変化と関係	4	50.2	50.5	51.3
D データの活用	3	70.7	67.5	68.7

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



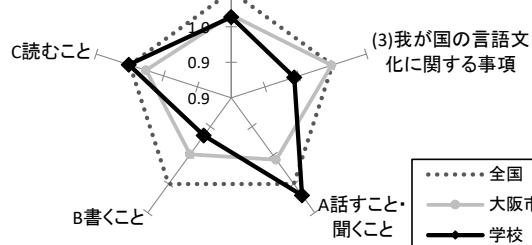
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)

(1)言葉の特徴や使い方に関する事項

(3)我が国の言語文化に関する事項



算数 領域別正答率(対全国比)

A数と計算

B図形

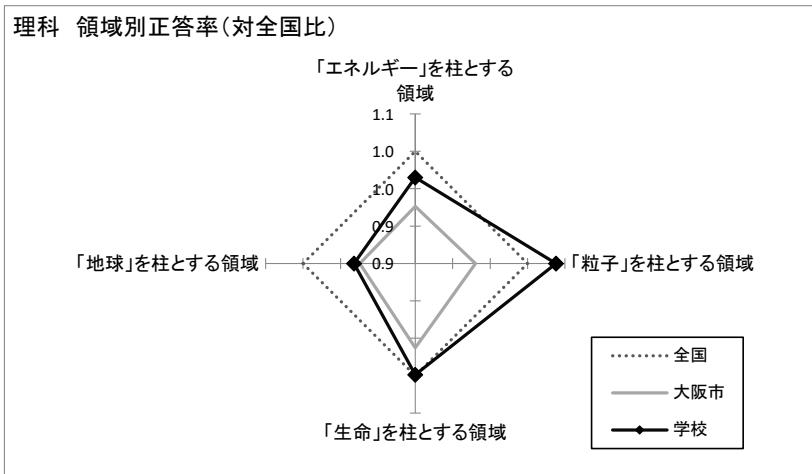
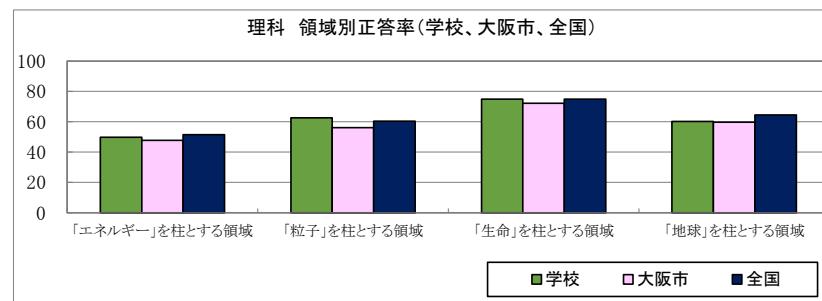
C変化と関係

Dデータの活用



【 理科 】

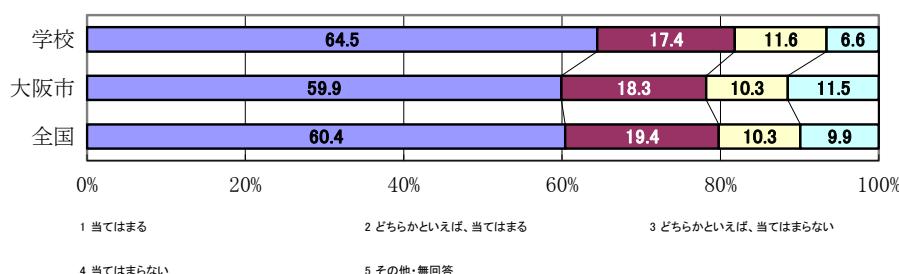
学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	49.8	47.8	51.6
	「粒子」を 柱とする領域	5	62.7	56.2	60.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	5	74.9	72.2	75.0
	「地球」を 柱とする領域	5	60.2	59.7	64.6



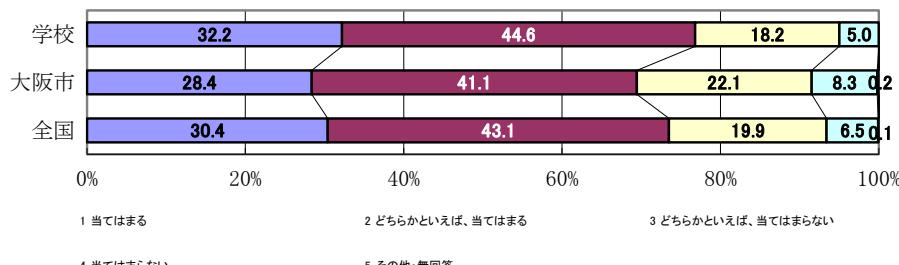
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

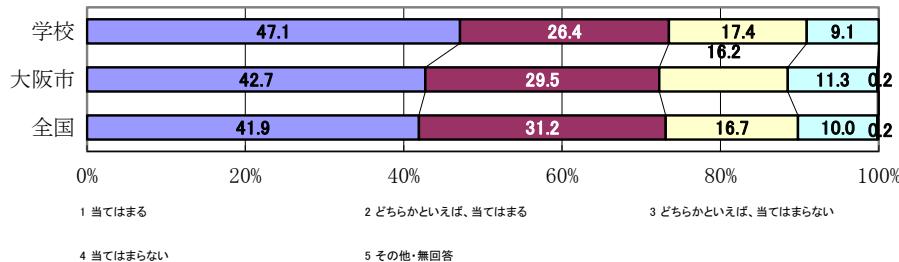
質問番号
質問事項
9
将来の夢や目標を持っていますか



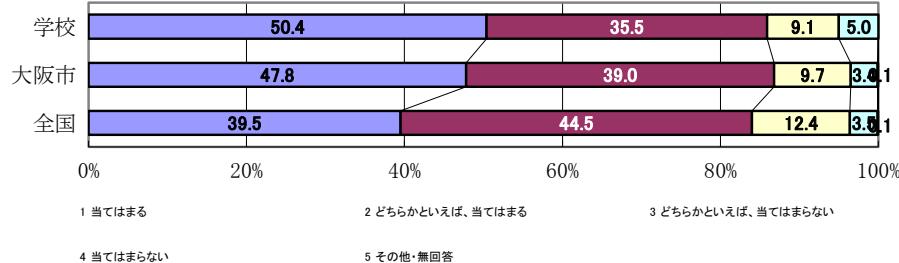
17
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



26
読書は好きですか



51
国語の授業の内容はよく分かれますか



55
算数の授業の内容はよく分かれますか

